

スクリーニング評価に用いられる「排出係数」は、リスク評価(一次)に用いる「排出係数一覧表(案)」※1から導出した。その両者の関係をまとめ、スクリーニング評価用の排出係数の導出方法を示した。

※1 リスク評価(一次)に用いる「排出係数一覧表(案)」は、現在e-Gov(電子政府)において意見募集中(4/21~6/30)

2種類の排出係数

化審法のリスク評価スキーム上において、「排出係数」と呼ばれているものは、下表に示すようにスクリーニング評価に用いるものとリスク評価(一次)に用いるものの2種類がある。

表 2種類の排出係数

一覧表の名称	排出係数一覧表	スクリーニング評価用排出係数一覧表
リスク評価スキームにおいて用いる場面	リスク評価(一次)	スクリーニング評価
排出係数の区分	環境媒体、詳細用途分類、物理化学的性状、ライフステージごと	環境媒体、用途分類ごと
排出係数を用いることで得られる排出量	出荷先都道府県、詳細用途分類、ライフステージ別の合計数量(生態の場合は水域のみ)	全国の合計数量(生態の場合は水域のみ)
利用する届出情報	事業者が届け出る優先評価化学物質の届出情報 【製造数量、高分子化合物の該当有無、詳細用途分類別・都道府県別出荷量】	事業者が届け出る一般化学物質の届出情報 【製造数量、高分子化合物の該当有無、用途分類番号別出荷量】

② 高分子化合物※2の該当有無「高分子化合物」欄の排出係数の値を使用するかどうかが決まる。
※2 高分子化合物とは1及び2に該当するもの
1. 1種類以上の単量体単位で連続してより生成する分子の集合から構成され、3連続以上の分子の合計重量が全体の50%以上を占め、かつ、同一分子量の分子の合計重量が全体の50%未満であること。
2. 数平均分子量が1,000以上であること。

スクリーニング評価用排出係数の導出方法

スクリーニング評価用排出係数は、排出係数一覧表から導出した。

スクリーニング評価用排出係数一覧表(案)

＜環境媒体、用途分類ごと＞

用途分類コード	用途分類	一般化学物質		高分子化合物	
		大気	水域	大気	水域
01	中間物	1.E-03	4.E-04	1.E-04	1.E-04
02	塗料用・ワニス用・コーティング剤用・印刷インキ用・複写用・殺生物剤用溶剤	3.E-01	8.E-05	-	-
03	接着剤用・粘着剤用・シーリング材用溶剤	4.E-01	2.E-04	-	-
04	金属洗浄溶剤	2.E-01	8.E-05	-	-
05	クリーニング洗浄溶剤	2.E-02	1.E-04	-	-
06	その他の洗浄溶剤	6.E-02	3.E-04	-	-
07	工業用溶剤	2.E-02	7.E-04	-	-
08	エアゾール用溶剤	1.E+00	-	-	-
09	その他の溶剤	1.E+00	4.E-03	-	-
10	化学プロセス調整剤	5.E-04	5.E-04	7.E-05	3.E-04
11	着色剤(染料、顔料、色素、色材)	3.E-04	1.E-04	-	-
12	水系洗浄剤1	8.E-04	1.E-02	9.E-05	1.E-02
47	燃料、燃料添加剤	2.E-04	1.E-04	1.E-05	1.E-04
98	その他の原料、その他の添加剤	1.E+00	1.E+00	1.E+00	1.E+00
*	その物質自体の製造	3.E-05	4.E-06	3.E-05	4.E-06

— 高分子化合物の用途として該当しないと考えられる

排出係数一覧表

＜環境媒体、詳細用途分類、物理化学的性状、ライフステージごと＞

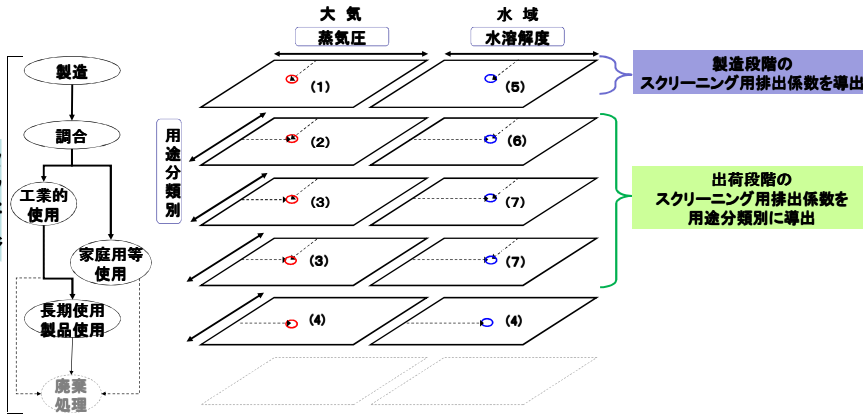


図 排出係数一覧表のイメージ

出荷段階(水域)の排出係数の導出方法の例示

(6) 調合段階(水域)

用途分類	詳細用途分類	水溶解度区分 (mg/L)				
		<10	10~100	100~1,000	1,000~10,000	>10,000
12.水系洗浄剤(工業用途)	a. 石鹼、洗剤	5×10 ⁻⁴	1×10 ⁻⁴	1×10 ⁻⁴	2.5×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴
	b. 無機アルカリ、...	5×10 ⁻⁴	1×10 ⁻⁴	1×10 ⁻⁴	2.5×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴
	c. ビルダ、...	5×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁵	1×10 ⁻⁴	1×10 ⁻⁴	2×10 ⁻⁴
	d. 防錆剤	5×10 ⁻⁴	1×10 ⁻⁴	2.5×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴	1×10 ⁻³
	z. その他	5×10 ⁻⁴	1×10 ⁻⁴	2.5×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴	1×10 ⁻³

(6) 調合段階(物理化学的性状区分を考慮しない)

用途分類	詳細用途分類	水溶解度区分 (mg/L)				
		<10	10~100	100~1,000	1,000~10,000	>10,000
12.水系洗浄剤(工業用途)	a. 石鹼、洗剤	1×10 ⁻⁴ (幾何平均)				
	b. 無機アルカリ、...					
	c. ビルダ、...					
	d. 防錆剤					
	z. その他					

(7) 工業的使用段階(水域)

用途分類	詳細用途分類	水溶解度区分 (mg/L)				
		<10	10~100	100~1,000	1,000~10,000	>10,000
12.水系洗浄剤(工業用途)	a. 石鹼、洗剤	2×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁵	2.5×10 ⁻⁴	4×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴
	b. 無機アルカリ、...	2×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁵	2.5×10 ⁻⁴	4×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴
	c. ビルダ、...	2×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁵	2.5×10 ⁻⁴	4×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴
	d. 防錆剤	2×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁵	2.5×10 ⁻⁴	4×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴
	z. その他	2×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁵	2.5×10 ⁻⁴	4×10 ⁻⁴	5×10 ⁻⁴

(7) 工業的使用段階(物理化学的性状区分を考慮しない)

用途分類	詳細用途分類	水溶解度区分 (mg/L)				
		<10	10~100	100~1,000	1,000~10,000	>10,000
12.水系洗浄剤(工業用途)	a. 石鹼、洗剤	1×10 ⁻² (幾何平均)				
	b. 無機アルカリ、...					
	c. ビルダ、...					
	d. 防錆剤					
	z. その他					

(6)と(7)を合算

出荷段階(調合+工業的使用段階)
(物理化学的性状区分を考慮しない)

用途分類	詳細用途分類	水溶解度区分 (mg/L)				
		<10	10~100	100~1,000	1,000~10,000	>10,000
12.水系洗浄剤(工業用途)	a. 石鹼、洗剤	1×10 ⁻² (幾何平均)				
	b. 無機アルカリ、...					
	c. ビルダ、...					
	d. 防錆剤					
	z. その他					

① 調合段階(水域)および工業的使用段階(水域)において、用途分類ごとに詳細用途分類と水溶解度区分間を幾何平均化し、1つの排出係数にする。

② 調合段階(水域)および工業的使用段階(水域)の幾何平均化した排出係数を合算する。